

201509001A

厚生労働科学研究費補助金

女性の健康の包括的支援総合研究事業

女性の健康の包括的支援のための 情報収集・情報発信と

医療提供体制等に関する研究

平成 27 年度総括研究報告書

研究代表者：藤井知行

平成 28 (2016) 年 3 月

厚生労働科学研究費補助金

女性の健康の包括的支援総合研究事業

女性の健康の包括的支援のための情報収集・情報発信と

医療提供体制等に関する研究

平成 27 年度総括研究報告書

研究代表者：藤井知行

平成 28（2016）年 3 月

目 次

I. 総括研究報告	
女性の健康の包括的支援のための情報収集・情報発信と医療提供体制等に関する研究	----- 1
藤井 知行	
II. 研究成果の刊行に関する一覧表	----- 14
III. 研究成果の刊行物・別刷	----- 21

I. 総括研究報告書

厚生労働科学研究費補助金（女性の健康の包括的支援総合研究事業）
平成 27 年度総括研究報告書

女性の健康の包括的支援のための情報収集・情報発信と医療提供体制等に関する研究

研究代表者：藤井知行 東京大学医学部女性診療科・産科

研究要旨

女性の健康は一生を通して月経周期、妊娠・出産、閉経などに伴う女性ホルモンの変動により大きく影響を受け、ライフステージごとのホルモン変動を意識した特別な管理が必要とされる。しかしながら現在、女性の一生を通じた包括的支援は皆無である。このため、女性特有の疾患に対する啓発、教育、予防などの支援は生活習慣病やがんの領域などと比較して大きく遅れており、このことが我が国の喫緊の課題である女性活躍、少子化解消、健康長寿への大きな障壁となっている。

本研究では、“女性の健康の包括的支援“という新たなパラダイムを構築し、情報の収集と発信による社会啓発、多診療科連携による統合的女性医療、相談員の養成などを介した社会的健康支援の体制を確立することを目的とし、女性の健康に関連するホームページを立ち上げた。このホームページ立ち上げには日本産科婦人科学会が全面的に支援しており、エキスパートからの寄稿も受けているため充実したコンテンツとなっている。

今後多診療科連携の現状と問題点を検討し、女性の健康の包括的健康支援にふさわしい統合的な女性診療の在り方を検討するため本邦の女性診療の指針を作成し、健康管理の在り方を提案すること、ホームページを見た一般人の行動変容を解析するためアンケートを行なう予定としている。また、女性の健康についての啓発、教育、相談などを実施するため、女性の健康の相談員を養成し包括的健康支援のための相談体制を充実させることも検討している。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

大須賀穰

東京大学医学部附属病院・女性外科教授

秋下雅弘

東京大学医学部附属病院老年病科教授

谷垣伸治

国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター・産科・教育研修部(併任)周産期医学・
医学教育医長

若尾文彦

国立がん研究センターがん対策情報センター センター長

金吉晴

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 災害時こころの情報支援センター成人精神
保健研究部 センター長・部長

対馬ルリ子

医療法人社団 ウィミンズ・ウェルネス対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座 理事長・院長

伊藤純子

国家公務員共済組合連合会 虎ノ門病院小児科 部長

加茂登志子

東京女子医科大学附属女性生涯健康センター 所長・教授

A. 研究目的

女性の健康はホルモンの変動により身体的・精神的に多大な影響を受けるという際立った特徴を持つ。しかし、これまでの我が国の健康支援対策において、このような女性の健康特性は重要視されてこず、政策にも反映されていなかった。一方で、過去十数年間において女性を取り巻く社会的環境は大きく変化しており、世界にも類を見ないレベルで高齢化が進んでいる日本において持続的な経済成長を可能にするためには、女性の活力と労働力を有効に社会に取り込む一億総活躍社会

(<http://www.gov-online.go.jp/tokusyuu/ichiookusoukatsuyaku/>) 概念が政権から打ち出されており、その実現が政策上の重要課題となっている。

女性のパワーを社会に取り入れるためには、月経および月経関連疾患により損なわれる女性の健康を維持することを積極的に支援することが必要であり、「女性の健康の包括的支援」という新たなパラダイムを創設し実現させることが必須の条件となっている。しかしながら、“女性の健康”が1つのまとまった健康概念として把握されてこなかった関係上、既存の情報も不統一で整理されていないのが現状である。未曾有の情報量が氾濫する現在の日本において、確かなソースで確かな情報を提供することは極めて重要な課題である。

本研究においては、“女性の健康の包括的支援”という新たなパラダイムを確立し、社会の啓発と医療・健康関係者の実践を介して我が国の女性の生涯健康を支える社会基盤を構築することを主目的とした。

B. 研究方法

本研究を行うにあたり、女性の健康と現時点での課題については、日本で最大の専門家団体である公益社団法人日本産科婦人科学会が、我が国の女性の健康およびその維持のために学会として責任をもちつつ情報提供を行うものとした。さらに女性の健康に詳しい精神科、内科、小児科の専門家を研究班に配置することにより産科婦人科の枠を超えた“女性の健康”を

新たなパラダイムとしてとらえ研究を進めることとした。

日本産科婦人科学会ではすでに、女性のすべてのライフステージに対応する専門家による女性活躍のための健康推進委員会が設置されており、本研究班に所属している大須賀穰が委員長を務めている。この委員会は昨年度に始動し、女性の健康の包括的支援に向けて活動を開始している。

平成27年度の課題として、まずは女性の健康についての情報収集・発信体制の基盤となるホームページを作成することとした。コンテンツに関しては日本産科婦人科学会が中心となって作成したが、現在精神科、内科、小児科の内容も取り入れた改定が進められている。

C. 研究結果

本研究の平成27年度の成果として、女性の健康についての多彩な情報を提供するホームページを作成した(図1)。世代ごとの記事が必要である点を重視し、思春期から老年期に至るまでの女性の健康に関する記事を網羅するため、以下のような記事立てとした。記事に関しては、図2~6のタブをクリックすることで各々の詳細な記事に容易にアクセスできると、セルフチェック(図5)、キーワード検索、料理のレシピ記載(図6)など、一般のユーザーが取っ付き易い記事を盛り込むことに重点をおいたことと、スマートフォンなどモバイル端末で見やすいことを最優先課題としてレイアウトを考えた点が特徴として挙げられる。

1) 女性全体を対象とした記事

1-1) 月経に関する記事

女性の最大の特徴の一つとも言える月経には月経困難、月経不順に代表されるようなトラブルが多くみられ、各々に潜在的に疾患が背景にある可能性が考えられる。よって月経に関する記事リストは以下表1の様に項目が作成された。

表1 月経関連疾患記事リスト

みんな悩んでる月経のトラブル
月経痛
月経不順・無月経
月経前症候群（PMS）
貧血
基礎体温
不正出血
おりもの・かゆみ

1-2) 全ての年齢層に共通した記事

全年齢層の女性において共通してみられる症状をリストアップし、それらに対応した記事を作成した（表2）。

表2 女性に頻度の多い症状の記事リスト

女性に多いからだの不快感と病気
冷え
腹痛・便秘・下痢
頭痛
甲状腺疾患
腰痛・ひざ痛
胃痛・胃もたれ
むくみ
痔
肌あれ・しみ・しわ
全身のかゆみ
膠原病(SLE、シェーグレン)
関節リウマチ
乳腺症・乳房痛
糖代謝異常

2) 思春期～生殖可能年齢女性の健康維持に関連した記事

2-1) 思春期

思春期には、月経が開始するだけでなく正しい性交の知識、スポーツの嗜みも含まれる。よって、表3～4の記事が作成された（図2）。

表3 思春期の性と健康記事リスト

ひとりで悩まない思春期の性と健康
性自認と性嗜好
性交と性交障害
女性とスポーツ

女性と喫煙

表4 性に関する記事リスト

人に相談しにくいデリケートな悩み
性感染症
避妊
不妊（不妊の診断と治療） ※Dr.船曳
セックスレス
性暴力、デートDV

2-2) 生殖可能年齢女性に多くみられる疾患に関連した記事

日本においては、初婚年齢、初回出産年齢が高齢化している現状がある。それに関連し、生殖可能年齢女性特有にみられる疾患群（表5）は、不妊症との関連があることから、これら疾患群の情報を提供することは極めて重要な意義をもつ。表5にあるような記事を作成した（図2）。

表5 女性特有の疾患記事リスト

要注意！早めに気づいて子宮と卵巣の異変
子宮内膜症
子宮筋腫・子宮腺筋症
卵巣嚢腫

3) 妊娠・出産に関連した記事

1990年の1.57ショック以来、2003年に制定された少子化社会対策基本法、2012年子ども・子育て支援法案に代表されるように、少子化対策と出生率の向上は、国のさらなる発展のためにも喫緊の課題である。働く女性の活力を使い、望まない妊娠を避けるという観点からも本記事は重要である。表6のような記事がリストアップされた。

表6 妊娠・出産関連記事リスト

知っておきたい 出産・産後のケア
産後トラブル（マタニティーブルーや産後うつ、骨盤底トラブル、産後の性生活）
産後の仕事とワークライフバランス
産前産後ケア（グリーンケア含む）
妊娠や産後に関する法律や制度

4) 周閉経期～閉経期～老年期にみられる疾患に関連した記事

持続可能な社会発展のためには、閉経後女性の活力を社会に還元することも重要であり、周閉経期以降老年期に至るまで女性において特有にみられる疾患とその背景、対策などに重点をおいて記事が作成された。

4-1) 周閉経期～閉経期女性の健康維持に関連した記事

表7および8において、更年期障害と更年期に多くみられる疾患に関する解説が記載された(図3)。

表7 更年期障害記事リスト

更年期を取り巻く状況と治療法 すっきり不安解消
更年期障害とは？
更年期と仕事・家庭
更年期相談・ピア支援
更年期の治療法

表8 更年期にみられる症状記事リスト

更年期に多い症状と病気 早めの相談がカギ
自律神経失調症
イライラ・うつ・不安・不眠
関節痛・関節疾患
ドライシンドローム
骨盤底疾患(尿もれ、頻尿、性器脱)
女性に多い痛み疾患(外陰疼痛症、線維筋痛症)
糖尿病・メタボリックシンドローム

4-2) 老年期女性の健康維持に関連した記事

老年期以降の女性において、多くみられる疾患を中心に表9のように記事が作成された(図4)。

表9 閉経後～老年期に関連した記事リスト

家族で考えたい老年期の悩み
骨粗しょう症、骨折
女性の脂質異常症と動脈硬化 → メタボ

フレイル、生活不活発病
認知症と予防・治療
介護と制度

5) 女性にみられる悪性腫瘍疾患の記事

子宮頸がん、子宮体がんを代表とした女性に特有にみられる悪性腫瘍については、疫学的背景、健康診断の重要性、ワクチンなどの情報も含めて情報提供が必要である。表10にあるような記事が掲載されている。

表10 女性に多くみられるまたは女性特有の悪性腫瘍疾患リスト

女性に多いがん
子宮頸がん、異形成
子宮体がん
卵巣がん
乳がん
大腸がん
胃がん
肺がん
HBOC(遺伝性乳がん・卵巣がん症候群)

D. 考察

女性の健康の包括的支援に関する情報提供を効率的に行うためのホームページの作成により、確固たる情報を提供する基盤は整った。また、ここには医学的な情報だけではなく、行政の支援体制、法律的な問題など広範な内容を含ませるようにして、今後の我が国において“女性の健康”の概念を普及させていく上での有用なツールとする予定である。今後、統合的な女性診療の健康評価・健診のための指針を作成することにより、女性の一生を通じた健康支援への多くの医師の参加が促進することと、本研究により女性の健康の包括的支援のための相談体制が充実する。このホームページではリンク機能も活用して各種の“女性の健康”に関する情報を統合するだけでなく、e-learning機能、アンケート機能など多彩な機能を持たせ、後に記載する相談支援体制などにおいても双方向性のツールとして活用できるものとする。また本サイトはアクセス記録などを追跡することが可能であるため、毎月のアクセス記録から、

受け手のニーズを拾い上げて、改善に繋げる作業を持続的に行なう予定である。

本研究班では、今年度以降さらに以下の項目を行う予定としている（図7）。

1) 多診療科連携による女性の診療指針の作成
多種多様な女性の健康が問題はその多くが産婦人科学の範疇に属するが、女性特有の内科的、小児科的、精神科的問題も存在する。よって、本研究ではこれからの統合的な女性診療を構築する上での基盤となるモデルと指針を作成する。

2) 健康支援教育プログラム等の作成と健康相談員の養成

現在すでに妊娠・出産、不妊症など女性の健康についての公的な相談窓口が自治体などに設置されているが、特定の疾患がはっきりしないと相談できない。広く女性の疾患予防、健康増進を相談するためには“女性の健康”という視点からみて統一された窓口が必要である。本研究ではまず、既存の女性の健康に対する相談支援体制の問題を明らかにし、包括的な相談支援体制の在り方を検討、整理する。そのうえで、女性の健康支援のための教育プログラムを作成し、健康相談員を養成する。日本産科婦人科学会はすでに医師に対して女性のヘルスケアアドバイザー養成プログラムを実施し、思春期から更年期・老年期まで一生を通じた女性のヘルスケアアドバイザーを養成している。本研究では、これをさらに改変、拡大することにより看護師、保健師、その他の健康支援関係者などが女性のヘルスケアアドバイザーとして活躍できるように養成し、女性の健康増進・向上に役立てる。また、女子医大関連女性外来を受診した患者及び労災病院の女性外来の診療データの収集・分析を行い、必要な人材の職種、専門性、知識、技能等の明確化を開始する。関連学会の協力の下、全国規模で多診療科体制にある女性外来を抽出し、訪問聞き取り調査やフォーカスグループ法等によりより詳細な情報を収集する。本情報と女子医大及び労災病院から得られた診療データと合わせ、連携女性医療のモデル案を構築する。

E. 結論

女性の健康の包括的支援に関する情報提供を効率的に行うためのホームページの作成、統合的な女性診療の健康評価・健診のための指針を作成することにより、女性の一生を通じた健康支援への多くの医師の参加が促進することと、本研究により女性の健康の包括的支援のための相談体制が充実するものと考えられる。

本研究のさらなる課題として、女性の健康支援のための教育プログラムを作成し、健康相談員などを教育することにより女性の健康支援のための相談体制を構築することが重要である。健康相談員などが積極的に地域住民を教育・啓発することにより女性の健康についての意識と理解が高まり、健康の増進が期待される。最終的には大規模データや具体的ニーズなどの情報をもとに、実行可能な「多診療科連携モデル」が構築され、日本全体の女性医療の水準を上げることができるだけでなく、医療法整備、経済活動の亢進にも繋がることを考えている。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表（2015/4/1～2016/3/31 発表）

1. 論文発表

[雑誌]

1. Positive peritoneal cytology at interval surgery is a poor prognostic factor in patients with stage T3c advanced ovarian carcinoma: A retrospective study.
Nagasaka K, Kawana K, Tomio K, Tsuruga T, Mori-Uchino M, Miura S, Tanikawa M, Miyamoto Y, Ikeda Y, Sone K, Adachi K, Matsumoto Y, Arimoto T, Oda K, Osuga Y, Fujii T.
J Obstet Gynaecol Res. 2015;41(5):755-62.
2. Cervical Expression of Elafin and SLPI in Pregnancy and Their Association With Preterm Labor.
Itaoka N, Nagamatsu T, Schust DJ, Ichikawa M, Sayama S, Iwasawa-Kawai Y, Kawana K, Yamashita T, Osuga Y, Fujii T.
Am J Reprod Immunol. 2015 Jun;73(6):536-44.

3. Cyclic stretch augments production of neutrophil chemokines, matrix metalloproteinases, and activin a in human endometrial stromal cells.
Izumi G, Koga K, Nagai M, Urata Y, Takamura M, Harada M, Hirata T, Hirota Y, Ogawa K, Inoue S, Fujii T, Osuga Y.
Am J Reprod Immunol. 2015 Jun;73(6):501-6.
4. CCAR2 negatively regulates nuclear receptor LXR α by competing with SIRT1 deacetylase.
Sakurabashi A, Wada-Hiraike O, Hirano M, Fu H, Isono W, Fukuda T, Morita Y, Tanikawa M, Miyamoto Y, Oda K, Kawana K, Osuga Y, Fujii T.
J Steroid Biochem Mol Biol. 2015 May;149:80-8.
5. Laparoscopic excision of ovarian endometrioma does not exert a qualitative effect on ovarian function: insights from in vitro fertilization and single embryo transfer cycles.
Harada M, Takahashi N, Hirata T, Koga K, Fujii T, Osuga Y.
J Assist Reprod Genet. 2015 May;32(5):685-9.
6. The anti-malarial chloroquine suppresses proliferation and overcomes cisplatin resistance of endometrial cancer cells via autophagy inhibition.
Fukuda T, Oda K, Wada-Hiraike O, Sone K, Inaba K, Ikeda Y, Miyasaka A, Kashiyama T, Tanikawa M, Arimoto T, Kuramoto H, Yano T, Kawana K, Osuga Y, Fujii T.
Gynecol Oncol. 2015 Jun;137(3):538-45.
7. HPV-16 impairs the subcellular distribution and levels of expression of protein phosphatase 1 γ in cervical malignancy.
Seiki T, Nagasaka K, Kranjec C, Kawana K, Maeda D, Nakamura H, Taguchi A, Matsumoto Y, Arimoto T, Wada-Hiraike O, Oda K, Nakagawa S, Yano T, Fukayama M, Banks L, Osuga Y, Fujii T.
BMC Cancer. 2015 Apr 7;15:230.
8. PI3K/mTOR pathway inhibition overcomes radioresistance via suppression of the HIF1- α /VEGF pathway in endometrial cancer.
Miyasaka A, Oda K, Ikeda Y, Sone K, Fukuda T, Inaba K, Makii C, Enomoto A, Hosoya N, Tanikawa M, Uehara Y, Arimoto T, Kuramoto H, Wada-Hiraike O, Miyagawa K, Yano T, Kawana K, Osuga Y, Fujii T.
Gynecol Oncol. 2015 Jul;138(1):174-80.
9. Drospirenone induces decidualization in human eutopic endometrial stromal cells and reduces DNA synthesis of human endometriotic stromal cells.
Miyashita M, Koga K, Izumi G, Makabe T, Hasegawa A, Hirota Y, Hirata T, Harada M, Fujii T, Osuga Y.
Fertil Steril. 2015 Jul;104(1):217-24.e2.
10. Four Cases of Postoperative Pneumothorax Among 2814 Consecutive Laparoscopic Gynecologic Surgeries: A Possible Correlation Between Postoperative Pneumothorax and Endometriosis.
Hirata T, Nakazawa A, Fukuda S, Hirota Y, Izumi G, Takamura M, Harada M, Koga K, Wada-Hiraike O, Fujii T, Osuga Y.
J Minim Invasive Gynecol. 2015 Sep-Oct;22(6):980-4.
11. Antitumor activity of a combination of dual PI3K/mTOR inhibitor SAR245409 and selective MEK1/2 inhibitor pimasertib in endometrial carcinomas.
Inaba K, Oda K, Ikeda Y, Sone K, Miyasaka A, Kashiyama T, Fukuda T, Uehara Y, Arimoto T, Kuramoto H, Wada-Hiraike O, Kawana K, Yano T, Osuga Y, Fujii T.
Gynecol Oncol. 2015 Aug;138(2):323-31.
12. Resveratrol Protects Against Pathological Preterm Birth by Suppression of Macrophage-Mediated Inflammation.
Furuya H, Taguchi A, Kawana K, Yamashita A, Inoue E, Yoshida M, Nakamura H, Fujimoto A, Inoue T, Sato M, Nishida H, Nagasaka K, Adachi K, Hoya M, Nagamatsu T, Wada-Hiraike O, Yamashita T, Osuga Y, Fujii T.
Reprod Sci. 2015 Dec;22(12):1561-8.
13. Integrated copy number and expression analysis identifies profiles of whole-arm

- chromosomal alterations and subgroups with favorable outcome in ovarian clear cell carcinomas.
Uehara Y, Oda K, Ikeda Y, Koso T, Tsuji S, Yamamoto S, Asada K, Sone K, Kurikawa R, Makii C, Hagiwara O, Tanikawa M, Maeda D, Hasegawa K, Nakagawa S, Wada-Hiraike O, Kawana K, Fukayama M, Fujiwara K, Yano T, Osuga Y, Fujii T, Aburatani H.
PLoS One. 2015 Jun 4;10(6):e0128066.
14. Placental autotaxin expression is diminished in women with pre-eclampsia.
Ichikawa M, Nagamatsu T, Schust DJ, Kawai-Iwasawa Y, Kawana K, Yamashita T, Osuga Y, Aoki J, Yatomi Y, Fujii T.
J Obstet Gynaecol Res. 2015 Sep;41(9):1406-11
 15. HAND2-mediated proteolysis negatively regulates the function of estrogen receptor α .
Fukuda T, Shirane A, Wada-Hiraike O, Oda K, Tanikawa M, Sakuabashi A, Hirano M, Fu H, Morita Y, Miyamoto Y, Inaba K, Kawana K, Osuga Y, Fujii T.
Mol Med Rep. 2015 Oct;12(4):5538-44.
 16. Putative tumor suppression function of SIRT6 in endometrial cancer.
Fukuda T, Wada-Hiraike O, Oda K, Tanikawa M, Makii C, Inaba K, Miyasaka A, Miyamoto Y, Yano T, Maeda D, Sasaki T, Kawana K, Fukayama M, Osuga Y, Fujii T.
FEBS Lett. 2015 Aug 4;589(17):2274-81.
 17. Evidence of the activation of unfolded protein response in granulosa and cumulus cells during follicular growth and maturation.
Harada M, Nose E, Takahashi N, Hirota Y, Hirata T, Yoshino O, Koga K, Fujii T, Osuga Y.
Gynecol Endocrinol. 2015 Oct;31(10):783-7.
 18. Prevention of the recurrence of symptom and lesions after conservative surgery for endometriosis.
Koga K, Takamura M, Fujii T, Osuga Y.
Fertil Steril. 2015 Oct;104(4):793-801.
 19. Simultaneous Detection and Evaluation of Four Subsets of CD4⁺ T Lymphocyte in Lesions and Peripheral Blood in Endometriosis.
Takamura M, Koga K, Izumi G, Hirata T, Harada M, Hirota Y, Hiraike O, Fujii T, Osuga Y.
Am J Reprod Immunol. 2015 Dec;74(6):480-6.
 20. Elective single-embryo transfer improves cumulative pregnancy outcome in young patients but not in women of advanced reproductive age.
Fujimoto A, Morishima K, Harada M, Hirata T, Osuga Y, Fujii T.
J Assist Reprod Genet. 2015 Dec;32(12):1773-9.
 21. Clinical significance of Gremlin 1 in cervical cancer and its effects on cancer stem cell maintenance.
Sato M, Kawana K, Fujimoto A, Yoshida M, Nakamura H, Nishida H, Inoue T, Taguchi A, Takahashi J, Adachi K, Nagasaka K, Matsumoto Y, Wada-Hiraike O, Oda K, Osuga Y, Fujii T.
Oncol Rep. 2016 Jan;35(1):391-7.
 22. Prognostic importance of CDK4/6-specific activity as a predictive marker for recurrence in patients with endometrial cancer, with or without adjuvant chemotherapy.
Ikeda Y, Oda K, Ishihara H, Wada-Hiraike O, Miyasaka A, Kashiyama T, Inaba K, Fukuda T, Sone K, Matsumoto Y, Arimoto T, Maeda D, Ikemura M, Fukayama M, Kawana K, Yano T, Aoki D, Osuga Y, Fujii T.
Br J Cancer. 2015 Nov 17;113(10):1477-83.
 23. A case of pregnancy complicated with dilated cardiomyopathy 1X.
Oki S, Nagamatsu T, Iriyama T, Komatsu A, Osuga Y, Fujii T.
Oxf Med Case Reports. 2015 Nov 3;2015(11):351-3.
 24. Decreased expression of the plasminogen activator inhibitor type 1 is involved in degradation of extracellular matrix surrounding cervical cancer stem cells.
Sato M, Kawana K, Adachi K, Fujimoto A, Yoshida M, Nakamura H, Nishida H, Inoue T,

Taguchi A, Takahashi J, Kojima S, Yamashita A, Tomio K, Nagamatsu T, Wada-Hiraike O, Oda K, Osuga Y, Fujii T.
Int J Oncol. 2016 Feb;48(2):829-35.

[書籍]

知っておきたい流産と切迫流産のこと.
藤井知行：初めてのたまごクラブ.2016 春
195-199

2. 学会発表

1. K-ras and c-myc modulate tumor microenvironment of peritoneal carcinomatosis and enhance its tumorigenesis. Mitsuyo Yoshida, Ayumi Taguchi, Kei Kawana, Kensuke Tomio, Hiroe Nakamura, Asaha Fujimoto, Aki Yamashita, Kazunori Nagasaka, Katsuyuki Adachi, Kaori Koga, Katsutoshi Oda, Tohru Kiyono, Yutaka Osuga, Tomoyuki Fujii. The 74th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association. 2015 Oct.
2. Prevention of preterm labor by OMEGA-3 polyunsaturated fatty acids and resolving E3. Inoue E, Nagamatsu T, Kawana K, Yamashita T, Osuga Y, Fujii T. 12th World Congress of Perinatal Medicine. 2015 Nov.

3. Endometrial regeneration in the mouse model of decellularized matrix transplantation. Takehiro Hiraoka, Yasushi Hirota, Tomoko Saito-Fujita, Tomoki Tanaka, Mitsunori Matsuo, Mahiro Egashira, Leona Matsumoto, Hirofumi Haraguchi, Katsuko S. Furukawa, Yutaka Osuga, Tomoyuki Fujii. The 39th Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan. 2015 Dec.
4. Efficacy of eicosapentaenoic acid supplementation in the women with unexplained recurrent pregnancy loss. Inoue E, Nagamatsu T, Kubota K, Kawana K, Yamashita T, Osuga Y, Fujii T. The World Congress on Recurrent Pregnancy Loss. 2016 Jan.

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)
なし。

1. 特許取得

なし。

2. 実用新案登録

なし。

3. その他

なし。

図1 ホームページ (http://w-health.jp/) のトップページ



図2 ライフステージ別の女性の健康ガイド (思春期・成人期編)



図3 ライフステージ別の女性の健康ガイド (更年期編)

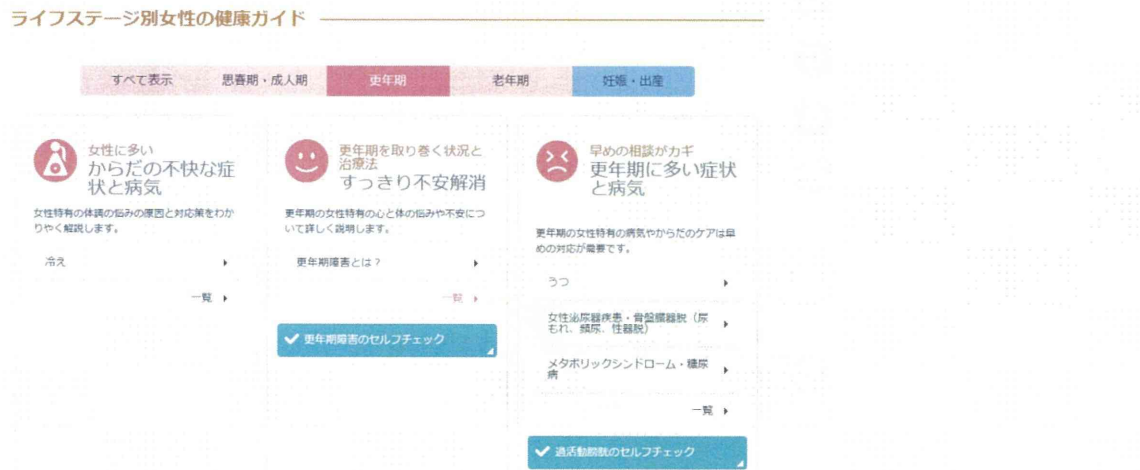


図4 ライフステージ別の女性の健康ガイド（老年期編）



図5 女性の病気セルフチェック

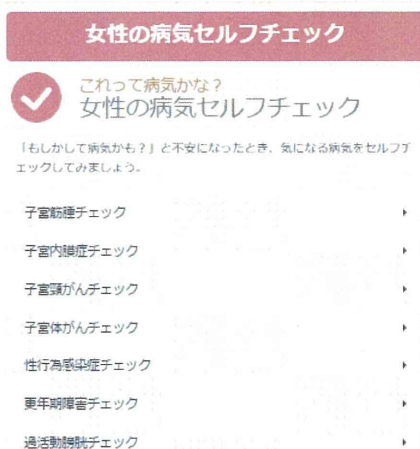
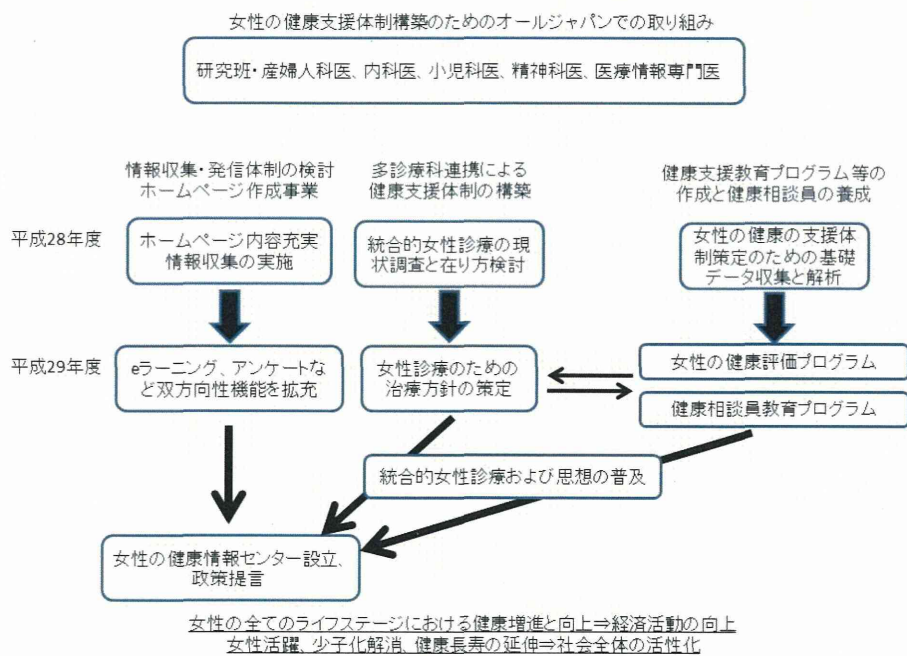


図6 キーワード、食事のレシピ紹介、Q&A コーナー



図 7 今後の予定図



II. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
藤井 知行	知っておきたい 流産と切迫流産 のこと		初めてのたま ごクラブ 2016春号	ベネッセ コーポレ ーション	東京	2016	195-199
対馬ルリ 子		小林佳美	キレイ・ゲン キのヒミツが わかる からだメンテ 大辞典	株式会社 メイト	東京	2016	112

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Itaoka N, Nagamatsu T, Schust DJ, Ichikawa M, Sayama S, Iwasawa-Kawai Y, Kawana K, Yamashita T, Osuga Y, Fujii T	Cervical Expression of Elafin and SLPI in Pregnancy and Their Association With Preterm Labor.	Am J Reprod Immunol	73	536-44	2015
Izumi G, Koga K, Nagai M, Urata Y, Takamura M, Harada M, Hirata T, Hirota Y, Onogawa K, Inoue S, Fujii T, Osuga Y	Cyclic stretch augments production of neutrophil chemokines, matrix metalloproteinases, and activation in human endometrial stromal cells.	Am J Reprod Immunol	73(6)	501-6	2015
Sakurabashi A, Wada-Hiraike O, Hirano M, Fuji H, Isono W, Fukuda T, Morita Y, Tanikawa M, Miyamoto Y, Oda K, Kawana K, Osuga Y, Fujii T	CCR2 negatively regulates nuclear receptor LXR α by competing with SIRT1 deacetylase.	J Steroid Biochem Mol Biol	149	80-8	2015

Harada M, Takahashi N, Hirata T, Koga K, Fujii T, <u>Osuga Y</u>	Laparoscopic excision of ovarian endometrioma does not exert a qualitative effect on ovarian function: insights from in vitro fertilization and single embryo transfer cycles.	J Assist Reprod Genet.	32(5)	685-9	2015
Fukuda T, Oda K, Wada-Hiraike O, Sone K, Inaba K, Ikeda Y, Miyasaka A, Kashiyama T, Tanikawa M, Arimoto T, Kuramoto H, Yano T, Kawana K, <u>Osuga Y</u> , <u>Fujii T</u>	The anti-malarial chloroquine suppresses proliferation and overcomes cisplatin resistance of endometrial cancer cells via autophagy inhibition.	Gynecol Oncol	137(3)	538-45	2015
Seiki T, Nagasaka K, Kranjec C, Kawana K, Maeda D, Nakamura H, Taguchi A, Matsu moto Y, Arimoto T, Wada-Hiraike O, Oda K, Nakagawa S, Yano T, Fukayama M, Banks L, <u>Osuga Y</u> , <u>Fujii T</u>	HPV-16 impairs the subcellular distribution and levels of expression of protein tyrosine phosphatase in cervical malignancy.	BMC Cancer			2015
Miyasaka A, Oda K, Ikeda Y, Sone K, Fukuda T, Inaba K, Makii C, Enomoto A, Hosoya N, Tanikawa M, Uehara Y, Arimoto T, Kuramoto H, Wada-Hiraike O, Miyagawa K, Yano T, Kawana K, <u>Osuga Y</u>	PI3K/mTOR pathway inhibition overcomes radioresistance via a suppression of the HIF1- α /VEGF pathway in endometrial cancer.	Gynecol Oncol	138(1)	174-80	2015
Miyashita M, Koga K, Izumi G, Makabe T, Hasegawa A, Hirota Y, Hirata T, Harada M, <u>Fujii T</u> , <u>Osuga Y</u>	Drospirenone induces decidualization in human eutopic endometrial stromal cells and reduces DNA synthesis of human endometrial stromal cells.	Fertil Steril	104(1)	217-24	2015

Hirata T, Nakazawa A, Fukuda S, Hirota Y, Izumi G, Takamura M, Harada M, Koga K, Wada-Hiraike O, <u>Fujii T</u> , <u>Osuga Y</u>	Four Cases of Postoperative Pneumothorax Among 2814 Consecutive Laparoscopic Gynecologic Surgeries: A Possible Correlation Between Postoperative Pneumothorax and Endo	J Minim Invasive Gynecol	22(6)	980-4	2015
Inaba K, Oda K, Ikeda Y, Sone K, Miyasaka A, Kashiyama T, Fukuda T, Uehara Y, Arimoto T, Kuramoto H, Wada-Hiraike O, Kawana K, Yano T, <u>Osuga Y</u> , <u>Fujii T</u>	Antitumor activity of a combination of dual PI3K/mTOR inhibitor SAR245409 and selective MEK1/2 inhibitor pimasectin in endometrial carcinomas.	Gynecol Oncol	138(2)	323-31	2015
Furuya H, Taguchi A, Kawana K, Yamashita A, Inoue E, Yoshida M, Nakamura H, Fujimoto A, Inoue T, Sato M, Nishida H, Nagasaka K, Adachi K, Hoya M, Nagamatsu T, Wada-Hiraike O, Yamashita T, <u>Osuga Y</u> , <u>Fujii T</u>	Resveratrol protects against pathological preterm birth by suppression of macrophage-mediated inflammation	Reprod Sci			2015
Ichikawa M, Nagamatsu T, Schust DJ, Kawai-Iwasawa Y, Kawana K, Yamashita T, <u>Osuga Y</u> , Aoki J, Yatomi Y, <u>Fujii T</u>	Placental autotaxin expression is diminished in women with pre-eclampsia.	J Obstet Gynaecol Res	41(9)	1406-11	2015
Fukuda T, Shirane A, Wada-Hiraike O, Oda K, Tanikawa M, Sakuabashi A, Hirano M, Fuji H, Morita Y, Miyamoto Y, Inaba K, Kawana K, <u>Osuga Y</u> , <u>Fujii T</u>	HAND2-mediated proteolysis negatively regulates the function of estrogen receptor α .	Mol Med Rep	12(4)	5538-44	2015

Fukuda T, Wada-Hiraike O, Oda K, Tanikawa M, Makii C, Inaba K, Miyasaka A, Miyamoto Y, Yanota T, Maeda D, Sasaki T, Kawana K, Fukayama M, <u>Osuga</u>	Putative tumor suppression function of SIRT6 in endometrial cancer.	FEBS Lett.	589(17)	2274-81	2015
Harada M, Nose E, Takahashi N, Hirota Y, Hirata T, Yoshino O, Koga K, <u>Fujii T, Osuga Y</u>	Evidence of the activation of unfolded protein response in granulosa and cumulus cells during follicular growth and maturation.	Gynecol Endocrinol.	31(10)	783-7	2015
Koga K, Takamura M, <u>Fujii T, Osuga Y</u>	Prevention of the recurrence of symptoms and lesions after conservative surgery for endometriosis.	Fertil Steril.	104(4)	793-801	2015
Takamura M, Koga K, Izumi G, Hirata T, Harada M, Hirata Y, Hiraike O, <u>Fujii T, Osuga Y</u>	Simultaneous Detection and Evaluation of Four Subsets of CD4+ T Lymphocyte in Lesions and Peripheral Blood in Endometriosis.	Am J Reprod Immunol.	74(6)	480-6	2015
Tsuruga T, Fujimoto A, Kawana K, Mori M, Hasumi Y, Kinoshita N, Tomio K, Miura S, Tanikawa M, Sonobe K, Miyamoto Y, Ikeda Y, Kojima S, Adachi K, Nagasaka K, Matsumoto Y, Arimoto T, Oda K, Nakagawa S, Horie K, Yasugi T, Yokota H, <u>Osuga</u>	Radical hysterectomy with or without para-aortic lymphadenectomy for patients with stage IB2, IIA2, and IIB cervical cancer: outcomes for a series of 308 patients.	Int J Clin Oncol	21(2)	359-66	2015
Fujimoto A, Morishima K, Hayasada M, Hirata T, <u>Osuga Y, Fujii T</u>	Elective single-embryo transfer improves cumulative pregnancy outcome in young patients but not in women of advanced reproductive age.	J Assist Reprod Genet	32(12)	1773-9	2015